



あけまして おめでと

はりきっています。戌(イヌ)年生れ6人

うございます

今年の抱負



△山上 淳子さん
(和納4区)
昭和45年9月22生

人に親切にする
心を大事に

私は、毎年、新年のちかひに「人に親切にする」ということにかけています。
小学校四年生のときも、このちかひをしましたが、なかなか思うようにできませんでした。声をかけようと思っても、ことわられたらどうしようとか、おせっかいかな、とかいう気持ちで頭にかんできてしまつて、やっかやればよかつた、とあとで後悔することがありました。

この事を思いうかべると、とてもはずかしくなつて、はらがたつてきます。
元旦に「今年こそは」と思つても、ああ良い事をしたと自分でまん足する事が一年間がんばつてもあまりないので、今年もダメだつたのがっかりした経験があります。
だから、今年こそは、「人に親切にする」というちかひを、しっかり守ろうと思います。

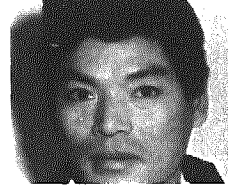


△田中 靖さん
(間瀬)
昭和33年12月22日生

安全運転で……。

最近、交通事故が増加の傾向にあり、交通事故警報が発令されるなど防止対策に懸命です。毎日、巻まで通勤している私にとって、関心をもたずにはいられない問題です。時折事故現場などをみるにつけ、「安全運転」の必要性を一層痛感いたします。
本年は、私にとって二回目のエトにあたり、二十四才になり、男の厄年ともいわれており、また、

二回目の免許更新の年ですから、特に慎重に安全運転を心がけたいと思つてます。
健康面については、けがや病気をしないように十分気をつけながら、元気に勤務に従事し、会社にも、社会にも貢献できるように精一杯努力したいと心に誓いました。
新年のすがすがしいこの気持ちを大切に、明るく、楽しい一年にしたいものと願つてます。



△脇田 稔さん
(和納4区)
昭和21年7月2日生

体を鍛え
健康に

健康に自信がもてなくなると、心のなかまで、老けこんでしまい、家族や周囲の人にも影響を与えるようになります。
積極性、前向きな姿勢、自信、とかの気を沸き立たせるのは、なんといい健康であり、体力だと思つています。
いわゆる中年をむかえつつある三十代後半、体力が衰えはじめる時期でもあると思つています。
幸い、村には立派な体育施設が

ありますので、楽しく使つて心身を鍛え健康な体づくりを励み、自己革新をはかり、新たな出発の年にしたいものと心に誓つてます。
犬は人間に飼ならされることによつて、人間の最良の友として、存在し役立っています。
私も微力ですが、広い心をもつて、地域社会に少しでも貢献できるようならばりたいと思つています。

ことしは
戌年

いろはカルタの一枚目は、ご存じ「犬も歩けば棒にあたる」。これは、「物事をなそうとする者は、それだけ災難に遭うことも多い」という意味とも「やつてらうちには、思いがけない幸運に会うこともある」という意味だともいわれています。
今年、戌(イヌ)年。どちらの解釈をとるにしても、慎重な心配りのもとに積極的な努力を惜しまず、開運間違いなし——といきたいものです。
犬といえは、知恵、勇氣、誠実の代名詞のような動物。「桃太郎」や「花咲爺」に登場するのも、そういう犬たちです。また、遠く「日本書紀」には、白犬が倒れた主人を守つて餓死するまでそばを離れず、その心を哀れんだ天皇の命で、主人と並べて墓に葬られたという、忠犬八公公の先づみたいな話が記録されています。
そんなほらかな昔から、犬は人間の大切な「協力者」だったわけです。
犬の特徴にあやかつて、ことしはすばらしい年にしたいものです。

あけましておめでとございます。昭和五十七年元旦、「ご家族を思って、楽しいお正月をお迎えのことと存じます。
静かで、さわやかな新春、いかがですか……。それぞれ、「今年こそこれだけは」と心に期す目標とか希望などについて話し合ったり、子や孫を相手にカルタやゲームに興じたり、にぎやかな声がきこえるようです。いいもんだですね、ところで、今年のエトは戌、そこで今年が年と大いに張りきつている六人のみなさんから登場ねがい。新春の抱負を述べてもらいます。
何んか共鳴するところもあると思つています、どうぞごらんください。



△小林 ヒナさん
(西船越)
昭和9月6月20日生

一歩一歩
着実に

私の家では、水田と酪農の複合経営で農業一筋にやっています。ですが、稲はもちろん酪農にまで、自主調整を強いられたいきびしく業をめぐる情勢は本当にきびしくなつてきています。これからは農家の主婦でも多くの人と語り合い学び合い研修する積極性が必要でないかと思つています。
そのため、婦人会やグループを活性化して、地域の婦人が手をとりあつて楽しい村づくりの一翼

を担う出発の年にしたいものです。そこで、できれば「婦人の家」、農産物加工や気がねなく話し合える施設がほしいと思つたりしています。
とにかく、今年も仕事に追われる毎日になると思つていますが、希望だけは、しっかりもつて、一歩一歩、充実に向つて精一杯がんばつていこうと思つています。

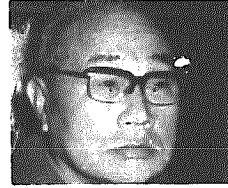


△高島 ノブさん
(岩室)
大正11年9月25日生

心にゆとりをもつて

光陰矢の如しと言いますが、月日のたつのは早いもので、もう還暦を迎える年となり、感無量の心境です。
これまで、あまりにも芸のことだけに精進し、他を省りみることもなく過ぎ去つた日々を反省しています。今年こそ心にゆとりをもつて健康に留意し、書道や村政などにも心を傾けたいとあれこれ欲ばつています。
また、茶道 華道は限りなく広

く深いものです。「道を極める」とは絶えることのない修業の連続と思われまふ。
自からを律し、楽しみと苦しみを味いながら、自己をみつめ、真心と厳しさを持つて指導にあたるよう心がけていきたいと思つています。
心広く、より広く、もつともつと広く、を信念に、心豊かにくらしたいと願つています。



△池田 腆さん
(西長島)
明治43年3月4日生

小さな目標に向つて
堅実に……。

さわやかな新年ですね、今年私のエト成ですが、もう数えて何回になるか……。もう数えて何と思つています。
今朝も六時には起床し、盆栽のハウスに入つて、一鉢ひと鉢ながめてきました。
今年の抱負ですか……。まあ、特別にこれといったものはありませんが、好きな菊づくりや草花と戯れていることが喜びですから、

しいていえば、菊花展で総合五位以内をめざすこと、ゲートボールの技量を磨くことなんでしょう。この歳になると、あれこれ欲ばつても結局は満足しないで終つてしまふことが多いんです。だから「高遠な理想も足下から」というように現実的な小さな目標に向つて、ひたすら努力する方がよっぽど賢明でないでしょうか。今年もゆかひに暮らしたい、それだけで十分です。